

# 政策統括官 総合政策担当 (社会保障)

Director-General for Policy Planning and Evaluation (Social Security Section)

## 全世代型の 社会保障をめざして

# 政策統括官 総合政策担当 (労働政策)

Director-General for Policy Planning and Evaluation (Labour Section)

## これからの 「働く」を描き出す

### Our Mission

厚生労働省における社会保障政策のコントロールタワーとして、少子高齢社会における総合的かつ基本的な政策の企画・立案と改革の推進に取り組んでいます。

### Our Mission

「働く」ことに関する様々な課題について、長期的な観点からの検討や経済学的な分析を行っています。

## 政策紹介 1

### 社会保障制度改革の推進

我が国の社会保障制度は、国民皆保険の実現や提供体制の整備により、誰でも適切な医療や介護を受けることを可能にし、世界一の長寿国を実現してきました。

少子高齢化が進む中で、社会保障制度を持続可能なものとし、次世代に引き渡していくことは我々の責務です。このため、世代間・世代内の負担の公平を図るなど社会保障制度改革を進め、全ての世代の安心と納得を得られる全世代型の社会保障となるよう取り組んでいます。



政を紹介するとともに、様々な機会を捉えて、教育現場において社会保障教育が正しく教えられる環境づくりを進めています。



【社会保障教育の映像教材】

### KEY WORD

#### 中長期的視点で

「持続可能な社会保障制度」という言葉に代表されるように、社会保障制度は中長期的視点で制度設計をすることが必要です。このため、人口や費用についての将来的な推計を行い、各制度設計の基礎となる情報を提供しています。

また、急激な少子高齢化や医療技術の進歩等医療を取り巻く環境が大きく変化する中で、国民の健康増進、保健医療システムの持続可能性の確保、保健医療分野における国際的な貢献、地域づくり等の分野における戦略的な取組に関する検討を行うことを目的として、厚生労働大臣の下で懇談会を開催し、2035年を見据えた保健医療政策のビジョンを示しました。



## 政策紹介 2

### 制度の理解促進に向けて

持続可能な社会保障制度の構築のためにも、国民の皆様は、社会保障をはじめとする各種制度について理解していただくことが重要です。

また、社会保障制度を、しっかりと次世代に引き渡していくためには、将来の社会を担う若い世代に、社会保障の意義を正しく理解いただき、当事者意識をもって考えてもらうことが大変重要です。

このため、「厚生労働白書」を刊行して、広く厚生労働行

## 政策紹介 1

### 働き方改革の推進

人口減少下の中で誰もが活躍できる社会を実現するため、労働政策の果たす役割がますます重要になっています。一億総活躍社会実現の最大の鍵は、「働き方改革」です。同一労働同一賃金をはじめとする非正規雇用の処遇改善、長時間労働の是正、高齢者の就業促進、労働生産性の向上等、厚生労働省は働き方改革の中心省庁です。政策統括官(労働政策)は、省内の政策の企画・立案と改革の推進の司令塔としての役割を担っています。

また、持続的な経済成長のための成長戦略や規制改革のほか、AIなどの技術革新に伴う「働き方」を巡る様々な課題に対応するための中長期的な検討にも取り組んでいます。



【官邸における働き方改革実現会議にて】

## 政策紹介 2

### 労働経済分析のシンクタンク

雇用、賃金、労働時間等、「働く」ことの現状や課題について、統計データを活用し経済学的に分析する「労働経

済白書」を毎年公表しています。平成28年版では、少子高齢化による供給制約の克服に向け、労働生産性の向上や希望する方が就労等により活躍できる環境整備が必要であるとの認識のもと「誰もが活躍できる社会の実現と労働生産性の向上に向けた課題」をテーマに、労働生産性の現状、賃金面・雇用面からみた労働生産性の上昇の果実、労働生産性の上昇に向けた課題と施策について分析しました。



【労働経済白書】

### KEY WORD

#### これってあり? ~まんがが知って役立つ労働法Q&A~

就職を控えた学生の方等のために、「働く」に当たって定められている様々な労働法の基本的な知識を分かりやすく手軽に学ぶことができるパンフレットを作成し、周知しています。



【まんが労働法】

# 政策統括官(統計・情報政策担当)

Director-General for  
Statistics and Information Policy

厚生労働行政を支える  
統計の整備と情報化、  
医療等分野のICT化の推進

## Our Mission

厚生労働行政の基礎となる人口動態・雇用・医療等に関する主要な統計調査を実施しています。また、情報政策の司令塔として、医療等分野のICT化や厚生労働行政の情報化を推進するとともに、サイバーセキュリティの強化に取り組んでいます。

## 政策紹介 1

### 厚生労働行政を支える統計を整備する

厚生労働省の政策を企画立案するに当たって、人口動態や世帯、医療、社会福祉、労働者の雇用、賃金、労働時間等の状況を正確に把握することが必要です。このため、政策統括官(統計・情報政策担当)では、厚生労働省の統計全体の取りまとめを担当しています。

また、WHO(世界保健機関)やOECD(経済協力開発機構)等の国際機関と協力し、統計データの国際比較や国際統計分類の整備等にも取り組んでいます。

## 政策紹介 2

### ICTを活用した「次世代型保健医療システム」を構築する

世界に例を見ない速さで進む少子高齢化に対し、質の高い健康・医療・介護サービスを効率的に提供して、一人ひとりの健康寿命をいかに延ばしていくかが未曾有の課題です。この解決には、ICTをフル活用して、健康・医療・介護のデータを収集・分析し、個々人の健康づくりや予防の促進、地域における質の高い医療、新たな治療法や薬の開発、高齢者の自立につながる介護等を実現していくことが必要です。これらを着実に実現するため、2020年度から大規模な健康・医療・介護のデータを有機的に連結させ、産官学が活用できる「保健医療データプラットフォーム」を稼働させるなど、ICTを活用した「次世代型保健医療システム」の構築に取り組んでいます。

## 政策紹介 3

### 使いやすく安心・安全な情報システムを構築する

今日の行政においては、国民の皆様にとっての利便性の向上や迅速な情報提供、行政事務の効率化の観点から、ITの活用が必要不可欠となっています。

インターネット経由で各種申請等手続きを行うためのシステムや国民の皆様に向けて情報発信を行っている厚生労働省ホームページの整備・運用を行うとともに、サイバー攻撃への的確かつ迅速な対策を講じることで、国民の皆様の情報を守り、安心・安全な行政サービスを維持・継続する取組を行っています。



## KEY WORD

### ICD-11改訂会議の開催

現在、WHOでは国際疾病分類(ICD)の第11版への改訂に向けて、抜本的な見直し作業を進めています。2016年10月には東京で、WHO加盟国の保健省等を招待して「ICD-11改訂会議」が開催されました。

ICDは、人口動態統計(死因統計)、患者統計や、病院・診療所のレセプト、カルテ等において、医療情報の体系的な把握のための手段として重要な役割を果たしています。

